LAUNCHKEYMINI



tion is the second seco

注意:

この製品を普通に操作している間に、強い静電気放電 (ESD) の影響を受ける可能性があります。こ れが起こった場合は、USBケーブルを抜き差しして、ユニットをリセットしてください。そうするこ とで通常の操作に戻ります。

商標

Novationの商標はFocusrite Audio Engineering Ltdが所有しています。このマニュアルに記載されている他のすべての商標、製品と会社名、またその他の登録名または登録商標は、それぞれの所有者のものです。

免責事項

Novationは、このマニュアルが、可能な限り正確で完成した情報を提供できるように努めていま す。Novationは、このマニュアルまたは本書に記載されている機器の使用に起因する機器の所有者、第三 者、またはすべての機器に対する損失または損害に対していかなる責任も負いません。本書で提供されて いる情報は、事前の警告なしにいつでも変更される可能性があります。仕様および外観は、記載および図 示されているものと異なる可能性があります。

著作権および法的通知

NovationはFocusrite Audio Engineering Limitedの登録商標です。Launchkey MiniはFocusrite Audio Engineering Plcの商標です。

2019 © Focusrite Audio Engineering Limited. 無断複製禁止。

Novation

A division of Focusrite Audio Engineering Ltd. Windsor House, Turnpike Road Cressex Business Park , High Wycombe Buckinghamshire , HP12 3FX United Kingdom Tel: +44 1494 462246 Fax: +44 1494 459920 e-mail: sales@novationmusic.com Web: www.novationmusic.com

目次

はじめに	4
主な機能	4
	5
Launchkey Mini [MK3]を使用開始するには	5
接続するには	7
コンピューターへの接続	7
モバイル機器への接続	7
スタンドアロンMIDIコントローラーとして使用する場合	7
ハードウェアの概要	8
背面図	9
上面パネル	9
Launchkey Mini[MK3]の使用	
Ableton Live 10の使用に関して	
インストール	10
設定	10
セッションモード	11
クリップの起動	15
シーンの起動	15
停止、ソロ、ミュート	16
録音/MIDIのキャプチャ	17
ドラムの演奏と録音	18
Ableton Liveデバイスの使用	19
Ableton Liveミキサーの使用	
アルペジエーター (Arp)	21
アルペジエーター調節つまみ	21
Arpモード	22
Arp率	23
Arpオクターブ	23
Arpリズム	24
ラッチ	24
Arpパッド	25
固定コード	26
カスタムモードとコンポーネント	27
カスタムモードの設定	27
Logic Pro Xの使用に関して	
Reason 10の使用に関して	
HUIの使用に関して (プロツール、Cubase)	
ベガスモード	

はじめに

Launchkey Mini [MK3]は、Novationの最も持ち運びやすいMIDIキーボードコントローラーで す。Launchkey Miniのサイズは小型ですが、音楽の制作と演奏の質を高める強力な機能と合理化されたワ ークフローが搭載されています。

Launchkey Miniは、制作と演奏の両方でAbleton Live(および他のDAW)と完全に結合できます。コン ピューターを見なくても、Liveのセッションビューを操作してコントロールしたり、クリップを再生や録 音したり、効果を調整したりできます。さらに、必要に応じてAbleton Live Liteのライセンスを提供しま す。

Launchkey Miniには、創造的なアルペジエーター(「Arp」)と「固定コード」モードがあり、どちらも 新しい音楽のアイデアの発見を簡単にします。Launchkey Miniのパッドは、フルRGBカラーバックライト でAbletonセッションを表示するので、どのクリップを進行させているのかを正確に把握できます。つい に、カスタムモードを使って、Launchkey Miniをスタジオや外出先で最適なコントローラーにすることが できます。カスタムモードでは、Novationコンポーネントを使用して調節つまみと操作パッドをカスタマ イズできます。

Launchkey Miniには、ハードウェアシンセサイザーやドラムマシンに接続するための標準TRS MIDI Out 3.5mmジャック*も装備されています。これはLaunchkey Miniの多くの機能をコンピューターなしで使用 できるということです。

サポートが必要な場合は、 support.novationmusic.com までお問い合わせください。

主な機能

- Ableton Liveの統合 クリップやシーンの起動、Liveミキサーのコントロール、楽器とドラムラックの演奏、MIDIのキャプチャなど。
- 他のDAW (Apple Logic Pro X、Propellerhead's Reasonなど、および HUI) との統合
- 標準のTRS MIDI Out 3.5mmジャックを使用してハードウェアに接続*
- 速度感知性ミニキーボード25鍵盤

- RGBバックライト搭載の速度感知性パッド16個
- 調節つまみ8個
- アイデアをすばやく引き起こす強力で創造的 なアルペジエーター
- 固定コードモード
- 再生と録音の転送コントロール
- ・ 調節つまみとパッドのユーザー定義マッピン
 グ用のカスタムモード

* TRS MIDI出力3.5mmからMIDI DINへの変換器は、novationmusic.com で購入できます。

箱に入っているもの

- Launchkey Mini
- USB Type-A~Type-Bケーブル (1.5メートル)
- 安全のしおり

Launchkey Mini [MK3]を使用開始するには

駆け出しのビートメーカーでもベテランのプロデューサーでも、Launchkey Miniをできるだけ簡単に起動 して操作できるようにしました。「簡単開始ツール」は、お客様のニーズに合わせて設定するための段階 的なガイドを提供します。

これまでに音楽を作ったことがない場合でも、ただ付属のソフトウェアをダウンロードしたい場合でも、 お客様が必要なものを確実に提供します。

Launchkey Miniをコンピューターに接続すると、USBドライブと同じように「大容量 記憶装置」として表示されます。これを開いて、「Click Here to Get Started.url」と いうリンクをクリックします。

これにより、オンラインの簡単開始ツールが開き、起動して操作したり、付属のソフ トウェアに直接アクセスしたり、必要なものを選ぶことができます。





このプロセスの一環として、Launchkey Mini [MK3]を登録して、付属のソフトウェアにアクセスできま す。トラックの作成を開始するために必要なすべてを提供します。

あるいは、customer.novationmusic.com/register (下図) に移動して、Launchkey Miniを登録することもできます。次に、付属のソフトウェアにアクセスするために、アカウントを作成してLaunchkeyのシリアル番号を入力する必要があります。

PLEASE LOG IN	Launchkey Mini登録ペ	ージ				
Your email address	WHY DO YOU NEED TO LOGIN AND REGISTER YOUR PRO	DUCT?				
Your password	 Access any free software and activation codes that come product Ensure you have the latest drivers, software and firmware 	with your				
LOG IN Forge	Receive information about software, driver and firmware to Control your contact preferences	updates				
DON'T HAVE AN ACCOUNT?						
CREATE AN ACCOUNT						
REGISTER YOUR PRODUCT						

コンピューターへの接続

Launchkey Miniはバスパワーなため、USBケーブルでコンピューターに接続すると すぐに起動します。



モバイル機器への接続

iOS

IOSデバイスでLaunchkey Miniを操作するに は、別個の2.4Aライトニングチャージャーを備 えたAppleのLightning〜USB 3カメラアダプタ ーを使用します。

Android

Launchkey MiniをAndroidデバイスで操作するに は、USB OTG

~USBアダプターを使用することをお勧めします。



スタンドアロンMIDIコントローラーとして使用する場合

コンピューターを使用せずにLaunchkey Miniで3.5mm MIDI出力を使用する場合は、標準のUSB電源(5V DC、最小500mA)でユニットに電力供給することができます。

Launchkey Miniは、TRS MIDIタイプAアダプターを使用する回路とのみ互換性があることにご注意ください。他の多くのNovation製品(Launchpad Proなど)も、タイプAアダプターを介してLaunchkey Miniと 確実に通信するためにタイプBアダプターを必要とします。



ハードウェアの概要



調節つまみは、ハードウェア、ソフトウェアパラメーター、またはLaunchkey自体の設定をコントロールします。



6 パッドは、Ableton Liveのセッションビューでクリップをトリガーし、ドラムを演奏するのに最適です。Shift キーを長押しすると、パッドの一番上の行が点灯し、現在のパッドモデルが最も明るくなります。その後、以 下の3つのパッドモード間で切り替えることができます:

- セッション-クリップをトリガーし、Liveのセッションビューをナビゲートします。
- ・ ドラム- 速度感知性パッドでドラムを演奏します。
- カスタム-パーソナライズされた色の音符のついたカスタム選択を演奏します。
 components.novationmusic.com/launchkey-mini-mk3でカスタムモードを編集します

Arpボタンを押して、アルペジ エーターを有効にします。 **Fixed Chord**ボタンを押しながら、保存された「固定」コードの一部 にしたいキーを押して放します。

このボタンは、DAWの**再生**をコントロールします。

録音ボタンは、DAWで録音プロセスを開始します。

背面図



上面パネル



Launchkey Mini[MK3]の使用

Launchkey Miniは、Ableton Liveとシームレスに連携するように設計されており、強力な制作管理とパフォ ーマンス管理による深い統合を提供します。Launchkey Miniには、強力なアルペジエーター(「Arp」)モ ードと「固定コード」モードもあり、どちらもLive、他のDAW、またはアウトボードギアとスタンドアロ ンで使用することができます。さらに、カスタムモードを使用してLaunchkey Miniを変更して、ニーズに 合わせることができます。Launchkey Miniのすべての機能の説明について、引き続きお読みください。

Ableton Live 10の使用に関して

インストール

Ableton Live 10をまだお持ちでない場合は、novationmusic.com/registerでLaunchkey Miniを登録して、 付属のAbleton Live 10 Liteをダウンロードしてインストールします。これまでにAbleton Liveを使用した ことがない場合は、簡単開始ツールにアクセスすることをお勧めします(「Launchkey Mini [MK3]の使用 を開始するには」を参照)。そこでは、インストール、ソフトウェアの基本機能、またLaunchkey Miniで 音楽の作成を開始する方法に関する動画があります。

設定

Ableton Liveをインストールした後に、Launchkey MiniをMacまたはPCのUSBポートに接続して起動しま す。Liveを開くと、Launchkey Miniが自動的に検出され、セッションモードに入ります。

Launchkeyで**Shift**を押すと、パッドライトは下の画像のように見えるはずです。最初の3つのパッド(オレ ンジ)はパッドの動作を選択するもので、右側の5つのパッド(緑)は調節つまみの動作を選択します。



パッドが上の画像と同様でない場合は、Liveのコントロールサーフェス設定を設定する必要があります。 これを行うには、Ableton Liveの「リンク/MIDI」設定メニューをご覧ください。

Windows: オプション>設定>リンク/MIDI

Mac: Live>設定>リンク/MIDI

000	Preferences								
Look Feel Audio	Link Show Link Toggle Show								
Link MIDI	MIDI								
File Folder	Control Surface Input Output 1 Launchkey Mini M▼ Launchkey Mini M▼ (Dump) 2 None ▼ None ▼ None								
Library	3 None V Launchkey Mini MK3 (MIDI Port) 4 None V Launchkey Mini MK3 (DAW Port) 5 Mone V Launchkey Mini MK3 (DAW Port)								
Plug-Ins Record Warp	6 None V None V None V Dump Takeover Mode Pickup V								
Licenses Maintenance	MDI Ports Track Sync Remote Input: Launchkey Mini MK3 (MDI Port) On Off On Input: Launchkey_Mini_MK3 Input (Laun On Off On Output: Launchkey Mini MK3 (MDI Port) On On On Output: Launchkey Mini MK3 (MIDI Port) On On On Output: Launchkey_Mini_MK3 Output (Lai On Off On								

リンク/ MIDIタブで、上記の設定をコピーする必要があります。最初に、コントロールサーフェスメニ ユーからLaunchkey Mini [MK3]を選択します。次に、入出力の下で、Launchkey Mini (Launchkey Mini InControl) またはLaunchkey Mini MIDI IN2 (Windows) を選択します。最後に、トラック、同期、リモ ート設定を一致させます。

Launchkey MiniでAbleton Liveを操作するのに問題がある場合は、簡単開始ツールの動画の説明をご覧ください。

セッションモード

Launchkey Miniのセッションモードにアクセスするには、Shiftを押しながらSessionパッド (左上のパッド)を押します。



セッションモードは、以下に示されるAbleton Liveのセッションビューをコントロールするように設計さ れています。セッションビューは、クリップ、トラック、シーンで構成されるグリッドです。



Launchkey Miniのセッションモードでは、セッションビューのクリップが8x2で表示されます。 セッションモードでのLaunchkey Miniのパッドの例:



クリップは通常、MIDI音符またはオーディオを含む ループです。



トラックは、仮想楽器またはオーディオトラックを表します。楽器トラックに配置されたMIDIクリップは、そのトラックに割り当てられている楽器で再生されます。



シーンはクリップの列です。シーンを起動すると、その列のすべてのクリップが起動します。これにより、(複数のトラックにまたがる)クリップを水平方向のグループに配置して曲の構造を形成し、シーン を次々に起動して曲を進めることができます。



また、**Shift**を押しながら**Session**パッド (左上のパッド) を押して、Launchkey Miniのセッションモード にアクセスします。

セッションモードでは、パッドはAbleton Liveのセッションビューの色付きの長方形内にあるクリップの グリッドを表します。以下の画像は、左端のトラックからマスタートラックまで伸びる、このような長方 形 (黄色)を示しています。

1 Analog	2 MIDI	3 Audio	Song		A Reverb	B Delay	Master		
•							►	1	
•							►	2	
•							►	3	
•				Drop Files and			•	4	
•				Devices Here			Þ	5	
•							►	6	
•		=					►	7	
•		-					►	8	

Ableton Live内でのクリップの位置や色の変更は、Launchkey Miniのセッションモードで表示されます。 点灯していない(暗い)パッドは、空のクリップスロットを示します。



セッションビュー内をナビゲートするには、**Shift**を押しながら、2番目の機能として矢印の付いた次の4 つのボタンを押します: >、Stop Solo Mute、Arp、およびFixed Chord。



具体的は、Shiftを押しながら次のボタンを押すことで、現在選択されているクリップのグリッド (Ableton Liveの色付きの長方形内)を上下に移動できます:



Shift+シーン起動(>)-これでクリップのグリッドを1列上に移動します。



Shift+ Stop, Solo, Mute -これでクリップのグリッドを1列下に移動します。



Shiftを押しながらArp(左)またはFixed Chord(右)を押すと、隣接する左または右のトラックが選択されます。これで自動的にトラックがアームされ、MIDIを受信する準備が整います。

クリップの起動

パッドを押すと、セッションビューの対応する場所でクリップが起動します。パッドが緑色に点滅し、ク リップが再生されていることを示します。パッドをもう一度押すとクリップが再起動し、空のパッドを押 すとそのトラックの再生が停止します。



クリップの停止または再起動の速さは、Live画面の上部にあるAbleton Liveのグローバル量子化セレクタ ーによって設定されます。デフォルトでは、これは1小節に設定されていますが、1/32音まで速く、または 8小節まで遅くすることができます。クリップをすぐに反応させるために「なし」に設定することもでき ます。

シーンの起動



シーンの起動ボタン (>) を押すと、Ableton Liveでシーンが起動します。これは、同じ列のすべてのクリ ップが開始、停止、録音、または一緒に再起動できることを意味します。

停止、ソロ、ミュート



セッションモード中に、下部の8つのパッドの機能を切り替えて、クリップを起動しないようにすること ができます。これは、Stop, Solo, Muteボタンで行います。

Stop, Solo, Muteボタンでは、次の方法でトラックに影響する4種類の状態を切り替えます:

- 停止(赤)-この状態では、パッドを押すと、対応するトラックのクリップが停止します。
- トラックが再生されていない場合、赤いパッドは薄暗く光ります。

- ソロ(青)-パッドを押すと、対応するトラックがソロになり、ソロがオンのトラックのみが聞こえます。
- トラックがソロになっていない場合(無音の場合)、パッドは薄暗く光り、ソロの場合は安定した明る い青になります。



- ミュート (黄色) パッドを押すと、対応するトラックがミュートされます。
- ミュートされたトラックのパッドは薄暗く光り、ミュートされていないトラックのパッドは元の明るさ と色のままになります。



クリップ(白) - (停止、ソロ、ミュートを切り替えた後)4回押すと、下部パッドの機能がデフォルトのセッションモードに戻り、パッドの下部の列が再びクリップを示します。



録音/MIDIのキャプチャ



このボタンを押すと、セッション録音が起動します。これにより、再生中のコンテンツを新しいクリップ に録音したり、既存のクリップに多重録音したりできます。

Shiftを押しながら録音を押すと、MIDIのキャプチャ機能が起動します。これにより、最近再生されたMIDI 音符を録音アームされたトラックで遡及的にキャプチャすることができます。つまり、録音していない時 に素晴らしい音を再生した場合、MIDIのキャプチャを使用してクリップに直接送信することができます。

ドラムの演奏と録音



ドラムモードは、Launchkey Miniのパッドを速度感知性ドラムパッドに変換します。

Shiftを押しながらDrumパッド(左上から2番目)を押してこのモードに入ります。

ドラムラック (Ableton MIDI楽器) が選択したライブトラックに読み込まれ、Launchkey Miniがドラムモ ードの場合、パッドはトラックの色に点灯します。これらのパッドは、コンピューター画面に表示されてい るドラムラックパッドを演奏し、演奏すると緑色に変わり、トラックが録音中の場合は赤色に変わります。



Shiftキーを押しながら、> またはStop, Solo, Muteボタンを押して、ドラムラックの128パッドのバンクを 上下にスクロールします。

Abletonのドラムラックを使用する場合、ドラムモードでは、(音の起動は別として)ドラムラック内の 関連するドラムラックパッドを選択します。放した時に、最後に演奏したドラムラックパッドが灰色になり、Ableton Liveが選択したドラムラックパッドを画面に表示します。

Kit-C	Kit-Core 808									
	Conga Mid 808	Cymbal 808	Conga Hi 808	C						
	MS	M 🕨 S	M S	М						
	Maracas 808	Tom Hi 808	Hihat Open 808							
	M 🕨 S	M 🕨 S	M S	Μ						
	Clave 808	Tom Low 808	W Hihat Closed							
	M 🕨 S	M 🕨 S	M S	М						
	Kick 808	Rim 808	Snare 808	C						
	M 🕨 S	M 🕨 S	M 🕨 S	М						

Ableton Liveデバイスの使用

デバイスモードでは、Liveのトラックで選択した「デバイス」(Abletonまたは第三者の楽器とエフェクト)をコントロールできます。このモードを使用するには、Shiftボタンを押しながらDeviceパッド(左上から4番目)を押します。



このモードでは、選択したデバイスの最初の8つのパラメーターを調節つまみでコントロールします。これは、楽器トラックとエフェクトラックで利用可能なLiveの8つの「マクロ」調節つまみをコントロールするのに特に便利です。



上図は、「パーカッション1」と呼ばれるインパルスプリセットを示します。ここで、Launchkey Miniの 調節つまみは、サンプルボリューム、サンプル開始と「ストレッチ」、ディレイとリバーブの量をコント ロールします。

Ableton Liveミキサーの使用



Launchkey Miniの8つの調節つまみ(上の赤い囲み)を使用して、Liveのミキサーを実践的にコントロー ルすることができます。Shiftを押しながら、Volume(音量)、Pan(パン)、またはSends(送信)パッ ド(上の青い囲みの中にある3つ)のいずれかを押して、調節つまみでそれぞれのパラメーターをコント ロールします。

- **音量**ーこのモードでは、進行中Liveの色付きの長方形内にある8つの選択されたトラックの音量をコント ロールできます。Shiftボタンを押しながらVolumeパッド(右上から4番目)を押すと、このモードが選 択されます。
- ・ パンーこのモードでは、進行中Liveの色付きの長方形内にある8つの選択したトラックをパンできま す。Shiftボタンを押しながらPanパッド(右上から3番目)を押すと、このモードが選択されます。
- 送信ーこのモードでは、Ableton Liveのトラックの送信レベルをコントロールできます。このモードに 入るには、Shiftを押したままSendsパッド(右上から2番目)を押します。



送信モードの場合、下の列にある2つの紫色のパッドは、送信Aと送信Bを切り替えます。左側の紫色のパッドは送信Aを選択し、右側の紫色のパッドは送信Bを選択します。

リターントラックにオーディオを送信することは、使用するオーディオエフェクトを少なくする優れた方 法です。例えば、同じリバーブを多数のトラックに配置する代わりに、1つのリバーブをリターントラック に配置し、 複数のトラックをそこに送信できます。

アルペジエーター (Arp)

Launchkeyの右側にあるArpボタンを押すと、アルペジエーターが有効になります。Arpをオンにする と、Launchkeyはコードを取得してアルペジオを作成し、コードの各音符を次々に演奏します。アルペジ エーターは、キーが押されている限り、Arp率で指定されたリズム値で作動します。

LaunchkeyのArpは、興味深いメロディと進行を簡単に考えつくのに最適な方法です。



アルペジエーター調節つまみ

Arp Shift	Tempo	Swing	Gate	Mutate	Deviate		
	Session	Orum	Custom	Device	Volume		
Transpose Channel							
Octave							

Arpボタンを長押しすると、調節つまみでアルペジオを変換できます。

- Tempo (テンポ) -この調節つまみは、Arp率と比例してアルペジオを加速または減速します。
 Launchkey Miniをスタンドアロンコントローラーとして使用する場合、この調節つまみの範囲は40
 BPMから240 BPMです。ただし、Ableton Liveと同期した場合、このノブは効果がありません。
- Swing (スイング) -この調節つまみは、他のすべての音符が遅延する量を設定し、結果としてスイン グしたリズムになります。アルペジエーターのスイングを変更するには、Arpボタンを押したままSwing というラベルの付いた調節つまみを回します。デフォルト(中心位置)では、スイングは50%(スイン グなし)に設定され、極端な値は80%(かなりスイング)および20%(ネガティブスイング)です。ネ ガティブスイングは、ディレイするのではなく、他のすべての音符が速くなります。
- Gate (ゲート) -この調節つまみを調整すると、より長いまたは短いMIDI音符が作成され、より「スタッカート」なアルペジオ、またはより滑らかな「レガート」アルペジオが作成されます。この調節つまみは、音符間の間隔の1%から200%になります。スイングが適用されている音符の場合、両方の音符は同じゲート長を保持します。
- Mutate (ミューテート) ミューテートをArpモードとして選択した後、Arpボタンを押しながらこの 調節つまみを回して、アルペジオにランダムな音符を追加します。調節つまみを回すたびに新しい「ミ ューテーション」が発生します。調節つまみの回転を止めると、音符が設定され、無期限に繰り返され ます。
- **Deviate (転換)** Arpリズムとして転換を選択した後、この調節つまみを回してリズミカルなバリエ ーションを作成します。この調節つまみを回すたびに、異なるパターンの休符が作成されます。

Arpモード

Arpをオンにすると、7つのアルペジエーターモードの1つになり、それぞれが異なる音符順のアルペジオに なります。Arpモードを変更するには、Arpボタンを押したまま目的のモードに対応するキーを押します。 キーを押した後に、上のパッドに変更が反映されていることがわかります(前のセクションを参照)。



- Up(上) -ここでは、音符は昇順(ピッチの上昇)で演奏されます。音符が追加されると、シーケンス内の音符数は増えますが、昇順のままになります。例えば、最初の音符であるE3を押してから、さらに2つの音符であるC3とG3をすばやく追加することができます。結果的にアルペジオは、C3、E3、そしてG3になります。
- Down (下) -このモードはUpモードに似ていますが、音符は降順で再生されます(例: G3、E3、C3)。
- Up/Down (上/下) -このアルペジオモードは、音符を昇順で演奏することから始まります。その後、 最高音に到達した後、音は最低音に向かって下降し、アルペジオが再び上昇する前に1回演奏され、最低 音に到達する前に停止します。パターンが繰り返されると、最低音のみが演奏されます。
- Played (演奏) -ここでは、演奏された順番に音符が繰り返されます。
- Random (ランダム) -このモードでは、コード音符の順序が無期限にランダム化されます。
- Chord (コード) すべての音符は、リズミカルなステップごとに再生されます(Arp率を参照)。これにより、高速コードの演奏が非常に簡単になります。
- ・ Mutate (ミューテート) ミューテートは独自の音符を作成し、「ミューテート」のラベルの下の調節つまみを回してアルペジオに追加します。この調節つまみを回すだけで、予期しない方法でアルペジオを変更できます。ノブ自体は「穏やか」(左)から「熱狂的」(右)になります。つまり、左25%はアルペジオに微妙なバリエーションを追加し、右99%は非常に予期しない結果をもたらします。聞こえる内容に満足した場合、調節つまみを回すのを止めます。その後、音符が設定され、無期限に繰り返されます。

Arp率



これらのオプションは、アルペジオ音の速度を指定します。それぞれの音符は前の音符の終わりの直後に 演奏されるため、短い割合(例: 1/32)は、長いレート(例: 1/4)よりも速くアルペジオを演奏します。

割合の選択肢は、次の一般的な音符の値です:4分の1(¼)、8分の1(1/8)、16分の1(1/16)、および 32分の1(1/32)の音符。Arp率を変更するには、Arpボタンを押したまま1/4、1/8、1/16、または1/32の下 のキーを押します。

さらに、「Triplet」の下のキーをクリックして、上記の各音楽値のトリプレットリズムのオン/オフを切り 替えることができます。これにより、アルペジオノートが4分の1、8分の1、16分の1、そして 30秒のトリプレットに変わります。

Arpオクターブ



これらの4つのキーは、アルペジオが繰り返すオクターブ数を指定します。変更するには、Arpボタンを押 したまま1、2、3、または4の下のキーを押します。1より高いオクターブを選択すると、高いオクターブで アルペジオが繰り返されます。例えば、1オクターブでC3、E3、およびG3だったアルペジオは、2オクタ ーブに設定すると、C3、E3、G3、C4、E4、およびG4になります。

Arpリズム



Arpリズムは、アルペジオのパターンに休符(サイレントステップ)を追加し、アルペジオの バリエーションを増やします。Arpを押したまま次のいずれかを押すと、パッドが黄色に変わります。

- ドット-これらの3つのオプションは、リズミカルなパターンです。
 - **O** 通常のアルペジェーター設定は、選択したArp率のすべての区分に音符を配置します。
 - OXO (音符 休符 音符) このリズムは、すべての音符の間に休符を追加します。
 - **OXXO** (音符 休符 休符 音符) -このパターンは、音符の各ペアの間に2つの 休符を追加します。
- Random (ランダム) ーこのオプションは、ランダムな長さのランダムな休符を作成します。各ステップは、音符または休符になる可能性が半々です。休符の場合、音符は次のステップに移動し、スキップされません。
- Deviate (転換) ーこれは最も独特なArpリズムで、さまざまな音符のバリエーションを作成します。Deviate調節つまみを回転するたびに異なる休符パターンが作成されます。

ラッチ



ラッチを使用すると、キーを押さずにアルペジエーターを使用できます。同時に押して放す音符は、アル ペジエーターが「ラッチ」する新しいアルペジオパターンを形成します。アルペジエーターは、キーを放 さなかったかのように演奏を続けます。新しいキーを押すと、前のアルペジオが消去され、新しいアルペ ジオが形成されます。

ラッチをオンにするには、Arpボタンを押したまま、「Latch」の下のキーを押します。ラッチを有効にす ると、音量の下のパッドが赤から黄緑に変わり、Arpモード、率、オクターブ、リズムを調整しているか どうかを確認できます。

Arpパッド

Launchkey Miniのパッドは、現在のArpの状態を視覚的に確認するのに役立ちます。Arpボタンを押し続け ると、パッドが異なる色で点灯し、次のArp設定を示します:紫(Arpモード)、赤(Arp率)、青(Arp オクターブ)、黄色(Arpリズム)、赤/黄緑(ラッチ)。

パッドの一番上の列は、次のArpグループを選択します: Arpモード、Arp率、Arpオクターブ、Arpリズム、およびラッチ(オン/オフ)。パッドの一番下の列は、次のように、選択したグループ内のさまざまなオプションを(一番上の行から)選択します:



Pitch Modulation	Arp Shift	Tempo	Swing	Gate	Mutate	Deviate		
								A
	Transpose Channel Octave	Mode	Rate	Octave (Selected)	Rhythm	Latch (Off)		Ap Fixed Owd
	+	1	2	3	4			Stop Solo Mute





固定コードは、コードシェイプを演奏し、他のキーを押して置き換えることができます。



コードを設定するには、Fixed Chordボタンを長押しします。次に、ボタンを押したまま、コードの一部 にしたいキーを押して放します。これでコードが保存されました。

以下の例のように、最初の音符よりも低い音符を追加した場合でも、コードに入力する最初の音はコード の「ルート音」と見なされることを覚えておいてください。

これらの手順は、次の固定コードの使用方法を示しています

1. Fixed Chordボタンを押し続けます。

- 2. C、E、最後にG(Cメジャーコード)を押して放します。ユニットはこれを「固定コード」として保存します。
- 3. Fixed Chordボタンを放します。
- エれでメジャーコードは、どのキーを押しても演奏されます。例えば、Fを押してFメジャーコード(下 を参照)を弾くか、Abを押してAbメジャーコードなどを弾くことができます。





固定コードの設定を入力するたびに、保存されたコードは消去され、固定コードを再び操作するには新し いコードを入力する必要があります。

カスタムモードとコンポーネント

Launchkey Miniは、幅広い音楽制作ソフトウェアおよびハードウェアの汎用MIDIコントローラーとして 機能します。25のキーから送信される音符オン/音符オフメッセージに加えて、各調節つまみとパッド は、Novationコンポーネントを使用してカスタマイズできる MIDIメッセージを送信します。これによ り、必要に応じてこれらのメッセージを使用するようにデバイスを設定することができます。



カスタムモードの設定

このモードにアクセスするには、Shiftを押したまま、カスタムパッドを押します。パッドの動作をカスタマイズするには、左から3番目のパッド調節つまみの動作をカスタマイズするには、右上のパッドを押します。

カスタムモードは、すべてのNovation製品のオンラインハブであるNovationコンポーネントを使用して作 成および編集できます。ここで作成したカスタムモードをすべてバックアップできます。いくつかのカス タムモードテンプレートを使用して、コンポーネントをダウンロードして探索することもできます。

コンポーネントにアクセスするには、WebMIDI対応ブラウザーを使用して components.novationmusic.com をご覧ください (Google ChromeまたはOperaを推奨します) 。もしくは、Novationアカウントページ からコンポーネントのスタンドアロンバージョンをダウンロードします。

パッド-パッドカスタムモードでは、8x2のグリッドパッドが音符メッセージを送信します。それぞれのパッドから送信される音符、および各パッドのオン/オフ色は、コンポーネントで編集することができます。

Logic Pro Xの使用に関して

Launchkey Mini [MK3]は、AppleのLogic Pro Xの多くのタスクのコントローラーとして機能します。この ガイドで前述したハードウェアの概要に従って、LaunchkeyMiniの多くの側面が機能します。また「アル ペジオ (Arp) 」セクションと「固定コード」セクションで説明されている動作は、Logic Pro Xでも同じ です。しかしながら、Logic Pro Xのコントロールサーフェスとして機能する場合は、説明が必要な複雑な 部分があります。

設定

Logic Pro XのLaunchkey Miniのインストーラーを実行した後に、USB Logicを介してデバイスをコンピュ ーターに接続すると、 Launchkey Miniが自動的に検出されます。これが行われない場合は、下記の場所か ら、Launchkey Miniを「コントロールサーフェス」として手動で選択する必要があります。

Logic Pro X>Control Surfaces (コントロールサーフェス) > Setup (設定)

設定ウィンドウの「New (新規) 」メニューから「Install (インストール) 」を選択します。 これにより、「Installインストール」ウィンドウが開きます。Novation Launchkey Mini MK3までスクロ ールして「Add (追加) 」をクリックします。

	Control Surface Setup
Edit V New V	
Device: Install Scan All Models L Mkill InControl Automatic Installation JL Mkill InControl	
Module: HUI Model: HUI Version: (unknown) Color:	
▼ CS Group: Control Surface Group 1 Flip Mode: Off	→ H UI
Display Mode: Value	<u>^</u>

		Install	
e e e e e e e e e e e e e e e e e e e	Manufacturer ^	Model MK-249C USB MIDI Keyboard	Module
	Evolution Electronics Ltd	MK-449C USB MIDI Keyboard	
	Evolution Electronics Ltd	USB Keystation 49e	
пшпшпш	Evolution Electronics Ltd	USB Keystation 61es	
	Evolution Electronics Ltd	USB X-Session	
	Evolution Electronics Ltd	USB X-Session Old	
i.	Focusrite A.E. Ltd	Launch Control	
	Focusrite A.E. Ltd	Launchkey Mini	
	Focusrite A.E. Ltd	Launchpad Mini	
	Frontier Design	TranzPort	
	Frontier Design Group	TranzPort	TranzPort
	Infinite Response	VAX77	
	Infinite Response	VAXMIDI	
	JL Cooper	CS-32	CS-32
	JL Cooper	FaderMaster 4/100	FaderMaster 4-100
	JL Cooper	MCS3	MCS3
			Add Scan

セッションモード



Shiftを押してからセッションパッドを押して、Logic Pro Xのセッションモードに入ります。 デフォルトでは、ここでパッドはトラック1から8を表します。

トラックにオーディオまたはMIDI情報が含まれていない場合は、対応するパッドは点灯しません。



デフォルトでは、パッドの一番上の列(赤)はトラックアームを切り替え、アームすることで明るく点灯 します。パッドの下の列(青)は、トラックのミュートを切り替え、同様にトラックがミュートされると 明るく点灯します。



Stop, Solo, Muteボタンを押して、パッドの一番下の列をソロ(黄色)に切り替えます。この状態では、 パッドを押すとトラックのソロが切り替わり、パッドが明るくなります。



録音ボタンを押してLogicの転送を開始し、アームしたトラックに録音します。

ナビゲーション



Shiftを押したままArpまたはFixed Chordを押すと、現在のトラックの前後のトラックがそれぞれ選択されます。これにより、さらに新しく選択したトラックも自動的にアームされます。

ドラムモード



Shiftを押したままDrumパッド(左上から2番目)を押して、ドラムモードに入ります。これにより、Logicのドラム楽器用にLaunchkey Miniの速度感知性パッドを使用できるようになります。

Logicのデバイスの使用



デバイスモードは、Launchkey Miniの調節つまみを使用して、選択したトラックの「スマートコントロール」を制御できます。このモードを使用するには、Shiftボタンを押したままDeviceパッド(右上)を押します。

Logicのミキサーコントロールの使用



Launchkey Miniの8つの調整つまみ(上の赤い囲み)を使用すると、Logic Pro Xのミキサーコントロール をコントロールすることができます。Shiftを押したまま、音量、パン、または送信パッド(上の青い囲み)を押して、調整つまみでそれぞれのパラメーターをコントロールします。

- ・ 音量とパンーこれらの2つのモードでは、選択した8つのトラックで音量とパンをコントロールできま
 す。Shiftを押したままVolumeまたはPanパッド(左上から5番目と6番目のパッド)を押すと、2つのモードが切り替わります。
- 送信-このモードでは、Logicのトラックの送信レベルをコントロールすることができます。このモードに入るには、Shiftを押したままSendsパッド(右上から2番目)を押します。

送信モードでは、下の列にある2つの青いパッドが送信Aと送信Bを切り替えます。左の青いパッドは送信 Aを選択し、右の青いパッドは送信Bを選択します。



Reason 10の使用に関して

設定

Reason 10を開いてLaunchkey MiniをUSB経由で接続した後、Reasonの設定を開きます。Reason> Preferences

Reasonの設定で**Control Surfaces (コントロールサーフェス)**をクリックし、**「Auto-detect** Surfaces (サーフェスの自動検出) 」を選択します。



その後、ReasonはLaunchkey Mini [MK3]を検出するはずです。それを選択し、「Use with Reason」がチェックされていることを確認します。



調節つまみ

Reason楽器を選択すると、Launchkey Miniの8つの調整つまみが便利なパラメーターを自動的にコント ロールします。もちろん、調整つまみがコントロールするパラメーターは楽器によって異なります。例え ば、Kongのドラムデザイナーでは、Launchkey Miniの調整つまみ(左から右)を、ピッチ、ディケイ、 バスFX、Aux 1、Aux 2、トーン、パン、レベルにマッピングします。

ナビゲーション



Shiftを押したままArpまたはFixed Chordを押すと、現在のトラックの下または上のトラックがそれぞれ選択されます。これにより、新しく選択されたReasonトラックも自動的にアームされます。

プリセットブラウジング

>およびStop, Solo, Muteボタンを押して、Reason楽器のプリセットをスクロールします。Shiftと>を押 すと次のプリセットに移動し、ShiftとStop, Solo, Muteを押すと前のプリセットに移動します。

HUIの使用に関して (プロツール、Cubase)

「HUI」(ヒューマン・ユーザー・インターフェースプロトコル)を使用すると、Launchkey Miniが Mackie HUIデバイスのように動作し、HUIサポートを提供するDAWと連携できます。HUIをサポートする DAWには、SteinbergのCubaseとNuendo、Avidプロツール、MOTU デジタルパフォーマーなどが含まれ ます。Launchkey Miniのほとんどの機能は、このガイドで前述したハードウェアの概要に従って働きしま す。同様に、ArpおよびFixed Chordのセクションで説明されている動作は、HUIがサポートするDAWにも 適用されます。次のページは、Launchkey MiniがHUIを介してコントロールサーフェスとして機能する場 合のあまり目立たない機能について説明します。

プロツール設定

プロツールでLaunchkey Miniを設定するには、次の手順を実行します:



Setup (設定) > Peripherals (周辺機器) ...

		Peripherals				
Synchronization Machine Control	MIDI Controllers	Ethernet Controllers	Mic Preamps	Satellites	VENUE	Atmos
	Туре	Receive From	Send To	# Ch's		
#1 💻	HUI	LnchkMMK3DAWP	✓ none	8 💌		
#2	none	none	Dradafined	Y		
#3	none	none	none	Clarett 2Pre Launchkey I	USB Mini MK3, DA'	W Port
#4 🔜	none	none 🔻 I	none	Launchkey I	Mini MK3, MI	DI Port

そこで「MIDIコントローラー」タブを選択し、上記の設定をコピーします。

プロツールのミキサーの使用



Shiftを押したまま、Volume、Pan、Sendsパッド(上の青い囲み)を押して、トラックの音量をコントロ ールし、Launchkey Miniの8つの調整つまみ(赤いボックス内)でパンとAを送信します。

送信モードで、下の列にある2つの青いパッドが送信Aと送信Bを切り替えます。左の青いパッドは送信A を選択し、右の青いパッドは送信を選択します。

Volume	Pan	Sends	Custom	A
				Stop
				Solo Mute
_				L

Cubaseの設定

CubaseでLaunchkey Miniを設定するには、次に移動します: Studio > Studio Setup.



次に、「MIDI port setup (MIDIポート設定)」の選択肢を見つけます。



左上隅の+をクリックし、「Mackie HUI」を選択します。

Cubaseの設定: MIDI入力およびMIDI出力に「Launchkey Mini MK3 DAW Port」を選択します。最後に、 「適用」をクリックして、Cubaseでコントローラーの使用を開始します。

Studio Setu	D				
Mackie HUI					
MIDI Input		Laur	nchkey Mini	MK3 DA	W Port 🔻
MIDI Output		Laur	nchkey Mini	MK3 DA	W Port 🔻
User Commands				<u>Reset</u>	
Button Audition Window/Alt	Category		Command		
Short	Smart Swit	tch Dela	/		
Enable Auto Se	lect				
			Reset		Apply
			Canc	el	ОК

Cubaseのナビゲーション

CubaseのMixconsoleでShiftを押したままArpまたはFixed Chordを押して、現在のトラックの左または右の トラックをそれぞれ選択します。これにより、さらに新しく選択したトラックも自動的にアームされます。

lation	Arp Shift	Tempo	Swing	Gate	Mutate	Deviate					
	_	Session	Drum	Custom	Device	Volume	Pan	Sends	Custom		
	Transpose Channel									>	
	Octave										Track ►

Cubaseミキサーの使用



Shiftを押したまま、音量、パン、またはSendsパッド(上の青い囲み)を押して、トラックの音量をコント ロールし、Launchkey Miniの8つの調整つまみ(赤いボックス)でAとBをパンします。

送信モードで、下の列にある2つの青いパッドが送信Aと送信Bを切り替えます。左の青いパッドは送信Aを選択し、右の青いパッドは送信を選択します。

Volume	Pan	Sends	Custom	A
				>
_	_			<u> </u>
				Stop Solo Mute

ベガスモード

Launchkey Miniが5分間アイドル状態の場合は、ベガスモードに入ります。このモードでは、パッド、ボタン、またはキーが押されるまで、色がパッド上をいつまでもスクロールします。

ベガスモードをオンまたはオフにするには、Shiftを押したままユニットをオンにします (USBケーブルを接続 します)。青いパッドが明るく点灯している場合、ベガスモードはオンになっています。



このパッドを押すことで、完全に点灯(オン)と薄暗く点灯(オフ)が切り替わります。

再生ボタンを押して、Launchkey Miniで音楽の作成を再開します。



